

# 考古遺物から見た 仏教文化の伝播と交流 古代日本と中央アジア



2021年3月5日(金)  
13:00~16:00  
オンライン開催  
使用言語:日・露(通訳あり)

13:00-13:05 開会挨拶 近本謙介(名古屋大学) Farkhod Maksudov(ウズベキスタン科学アカデミー国立考古学センター)

13:05-13:30 「中央アジアの壁画から見た仏教美術の伝播」 影山悦子(名古屋大学)

13:30-14:00 「ウズベキスタン古代仏教壁画の保存修復」(ロシア語)

Marina Reutova(ウズベキスタン科学アカデミー国立考古学センター)

14:00-14:25 「ガラス玉から見た古代日本とアジア」 田村朋美(奈良文化財研究所)

— 休憩 —

14:35-15:05 「ウズベキスタン南部ボイスン市ラバト村における墓地の考古学調査」(ロシア語)

Mutalib Khasanov(ウズベキスタン科学アカデミー国立考古学センター)

15:05-15:30 「伽藍配置から見た中央アジアにおける仏教の伝播」 岩井俊平(龍谷ミュージアム)

15:30-15:55 「景観から見た日本古代寺院の造営背景」 梶原義実(名古屋大学)

15:55-16:00 閉会挨拶 近本謙介(名古屋大学)

本研究は、JSPS科研費JP20K00185の助成を受けたものです。

主催 名古屋大学最先端国際研究ユニット「文化遺産と交流史のアジア共創研究ユニット」

共催 ウズベキスタン科学アカデミー国立考古学センター・名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学術センター

参加方法 事前申込制

申込締切 3月3日(水)

連絡先 影山悦子 (kageyama (at) nagoya-u.jp)